

☆☆☆ 朝 礼 講 話 ☆☆☆

6月26日 (月)

『 世界の子どもたち 』

講話 6年担任 中村 典枝



せかい こ 世界の子どもたち



みなさんは、毎日楽しく学校生活を過ごすことができているでしょうか？今日は世界の子どもたちについて少しお話をしたいと思います。

「**6700万人**」 この数字は何だと思えますか？じつは、世界中で小学校に通っていない子どもの数なのです。日本で小学校に通っていない子たちはいるでしょうか？ほとんど見かけないですね。

日本の子どもたちは小学校でいろいろなことを勉強することができますよね。でも世界には小学校で勉強したくてもできない子どもたちがたくさんいるのです。その理由について見ていきましょう。

① 学校が近くにない

日本には学区があって近くの学校に通うことができますが、貧しい国や地域では学校の数が少なく家から遠すぎて通えないことがあります。

② 学校に通うためのお金がない

生活していくためのお金すら十分に手に入らないため、授業料や教科書代が払えない人が多くいます。

③ 家の手伝いや家計を助けなければならない

家が貧しくて家計を助けるため、子どもも農業などの家の仕事を手伝ったり、外に働きに出たりしなければならないことがあります。

④ 重い病気にかかった

貧しい国や地域では衛生環境が悪い上に、栄養状態も悪いために病気にかかりやすく、近くに病院もないために病気が重くなり、治らない子どもがいます。

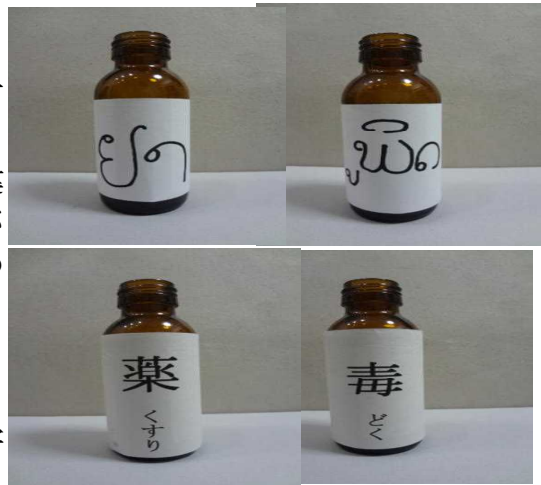
⑤ 戦争に巻き込まれた

戦争によって学校が破壊されたり、難民として避難しなければならなかったり、時には少年兵として戦争にかり出されたりする子どももいます。

このビンには何て書いてあると思えますか？ビンに書かれている文字はラオ語（ラオスの言葉）で、どちらかが「薬」でどちらかが「毒」です。このように文字が読めないと、薬と間違っって毒を飲んでしまうことがあります。文字が読めないというだけで命に関わることがあるのです。

次のビンには何て書いてあるか読めますか？日本語で書かれているので読めますね。でもこの字が読めるようになったのは、みなさんが学校へ行き漢字やひらがなを習ったからです。

文字だけでなく学校へ通うことはたくさんのお勉強できるということです。



次の8つの中から、大切だと思うものを3つ選んでください。

- ① 食べ物が十分にある
- ② おこづかいがたくさんある
- ③ 家族でくらせる家がある
- ④ 自由な時間がたくさんある
- ⑤ 仲のよい友だちがいる
- ⑥ じぶんを大切にしてくれる親がいる
- ⑦ 病気をなおしてくれる病院がある
- ⑧ 勉強を教えてくれる学校がある

みなさんどれを選びましたか？

みなさんが選んだ大切なものと、世界のいろんな友だちが選んだものを比べてみると、どうでしょう？

バングラデシュのある小学校の子どもたちは、3つの中に、「親」と「病院」と「学校」を入れていました。

みなさんは学校で勉強できるということが、友だちと遊べるということが幸せだと思いませんか？



「名刺交換ゲーム」(ふれあい集会)

21日(水)のふれあいタイムに、ふれあい集会として「名刺交換ゲーム」を行いました。

最初に児童会役員がゲームの方法を実演しながら説明してくれました。校歌が流れている間に違う学年の相手を見つけ、校歌の演奏が終わると、あいさつをして事前にそれぞれで工夫して作っておいた自作の名刺を交換しました。何回か繰り返すので、よく知っている友達だけでなく、普段あまり関わりがない人とも交換することになり、学年をこえた関わりを広げることができました。

